

令和元年第4回鹿角市議会定例会 一般質問

□質問順位及び質問所要時間

6月13日(木) 午前10時～	1	栗山尚記	議員	(60分)
	2	成田哲男	議員	(30分)
	3	館花一仁	議員	(30分)
	4	吉村アイ	議員	(60分)
6月14日(金) 午前10時～	5	黒澤一夫	議員	(60分)
	6	倉岡誠	議員	(60分)
	7	児玉悦朗	議員	(30分)
	8	安保誠一郎	議員	(30分)
	9	戸田芳孝	議員	(30分)

□質問時間割当表

10:00	11:00	11:10	11:40	13:00	13:30	13:40	14:40
6月13日 (木)	栗山尚記 (60分)	休憩 10分間	成田哲男 (30分)	休 憩	館花一仁 (30分)	休憩 10分間	吉村アイ (60分)

10:00	11:00	11:10	12:10	13:00	13:30	13:40	14:10	14:20	14:50
6月14日 (金)	黒澤一夫 (60分)	休憩 10分間	倉岡 誠 (60分)	休 憩	児玉悦朗 (30分)	休憩 10分間	安保誠一郎 (30分)	休憩 10分間	戸田芳孝 (30分)

令和元年第4回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	1	質問者	栗山 尚記	質問所要時間	60分
質問事項			質問要旨		
1	教育環境について	(1) 鹿角地域高等学校再編について	① 高校の再編のあり方を検討する協議会より県に対して報告書が提出されたが、設置場所の問題等により再編のスピードが鈍っている。生徒減少により、各種専門分野の教員配置不足・各種運営資金不足等々、子ども達にとっては、望ましくない教育環境が悪い方向へ進んでいる。鹿角地域に一校となる学校設置に対し、1日でも早い統合を市が先頭に立って進めていくことが子ども達にとって最良の選択と思うが考えを伺う。		
		(2) 高等学校統合校に対する市の支援について	① 県が主体の計画ではあるが、鹿角地域で唯一の高等学校となった場合、県が行き届かない不足部分に対し、例えば、スクールバスの運行や学生寮の設置、部活動の大会遠征費の補助など、子ども達のために市が支援できることがあると思うが考えを伺う。		
		(3) 尾去沢・八幡平地域の小中学校再編について	① 他地域での小中学校再編は着実に進んでいるが、同じく少子化が進んでいる両地域における再編も方向性を示す時期と考える。地域の実情や校舎の老朽化、多人数による多様な教育環境を子ども達に提供することを考慮すると、小中一貫校への転換、さらには保育園や高齢者施設も含めた整備も有効な方法と思うが考えを伺う。		
		(4) 新学習指導要領への対応について	① 2020年には新学習指導要領に基づいた授業が現場で開始される。新たに導入される英語教育やプログラミング学習に対する教育環境整備の現状と計画について伺う。		
2	子ども達の安全対策について	(1) ハード面での安全確保について	① 全国的にも、連日子ども達が犠牲になる交通事故や事件が報道されているが、危険箇所の改善整備や監視カメラの設置、さらには通学路や保育・教育機関近辺に出没する熊対策など、自己防衛力の弱い子ども達を守るためのハード面での対策の現状と今後の計画について伺う。		

令和元年第4回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	1	質問者	栗山 尚記	質問所要時間	60分
質問事項			質問要旨		
		(2) ソフト面での安全対策について	① 金銭では解決できない地域住民との連携による見守りや、警察や他機関との情報共有や連携、子ども達自身の身を守ることができる教育、児童虐待への対応等々、ソフト面でも多くの対策が求められるが、現状と今後の計画について伺う。		
3		高齢者ドライバー対策について (1) 免許証返納について	① 車がなければ生活できない地域において車での移動が不可欠な現状は理解できるが、加齢による事故リスクの増加には対策が必要と思う。市内における免許証返納の実態と返納を進める対応を伺う。		
		(2) 高齢者ドライバーに対する支援について	① 免許証返納が不可能な場合、何らかの形で安全運転を確保する必要があると思うが、警察を初めとした関係機関に対する安全指導の徹底の要望はもちろん、市としても自動ブレーキシステム装備への補助などの支援も対策の一つと考えるが、これについて伺う。		
4		地域医療体制の充実について (1) 医師確保について	① 産婦人科医を初め、市では医師確保に対し多様な取り組みを行っている。複数の常勤医確保などの実績も成果として現れてきているが、現段階での成果と問題点、今後の計画について伺う。		
		(2) 市立病院開設について	① 市内の中核となっている総合病院は他団体による経営であるが、市が直接運営に関わる市立病院を現状の経営体と協力し開設することができれば、現状以上の市民に対する有益なサービスが可能となることや、自治医科大学等の公設の機関からの医師確保が可能になるなどのメリットも多く考えられると思うが可能性について伺う。		

令和元年第4回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	2	質問者	成田 哲男	質問所要時間	30分
質問事項			質問要旨		
1		かづのパワーについて		① 第三セクターであるかづのパワーを7月までに設立する予定であるが、進捗状況について伺う。	
2		医師確保対策について		① 医療機関開設資金支援事業を復活拡大したが、平成27年度（2015年度）までの制度内容との違いについて伺う。 ② 今回、皮膚科診療所のようなが、ほかにも問い合わせはあるか伺う。	
3		高齢者日常支援について		① 高齢者へのタクシー券交付支援について、現在の条件を緩和することはできないか伺う。	
4		鹿角牛の地理的表示（G I）保護制度の登録について		① 昨年12月に登録申請し、今年度内の登録を目指しているが、その時期等について状況を伺う。 ② 登録までの今後の流れについて伺う。	
5		かづのプレミアムツアーについて		① ツアーの概略について伺う。 ② 5月頃から予約を開始し、ツアーは7月から始まる予定としているが、現在の状況について伺う。	
6		商店街店舗創出パワーアップ事業について		① クラウドファンディング型ふるさと納税寄附金を原資とし、空き店舗を活用して起業支援をする事業であるが、7月1日までの公募期間に対する現在の状況について伺う。 ② 公募締め切り後のスケジュールや補助内容について伺う。	
7		空き店舗の登録について		① 現在登録は花輪地区の5件とのことだが、今後、他地区も含め、増やす方法等について伺う。	

令和元年第4回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	3	質問者	館花 一仁	質問所要時間	30分
質問事項			質問要旨		
<p>1 農業施策について</p> <p>(1)持続可能な農業の将来像について</p> <p>(2)農業委員会の取り組みについて</p> <p>(3)移住定住者等の就農について</p>	<p>① 本市農業の状況は高齢化、担い手不足に直面するなど課題が多い。今後の、持続的な農業の将来像はどのように考えているのか伺う。</p> <p>② 農業従事者の65歳以上が67%と、本市農業者の高齢化が進んでいる。後継者の育成、新規就農者の取り組み状況を今後どのようにしていくのか伺う。</p> <p>③ 女性農業者は農業や地域活動の担い手として大変重要な役割を担っている。女性経営者の新たな事業への取り組みや活動に対する支援をする考えがあるか伺う。</p> <p>① 農業委員会は地域の農地や人に一番精通している組織であると考え。農地利用最適化推進委員が農地中間管理機構に集積・集約化した農地の面積はどれくらいあるものか伺う。</p> <p>② 農地等の利用最適化の指針は、令和5年には遊休農地の解消目標を0%と設定しているが、農業従事者が減少することが見込まれる中で、本市ではどのような対応策を想定しているのか伺う。</p> <p>③ 市内には農地所有適格法人が30以上あると聞いている。法人は毎事業年度の終了後、必要事項を記載した報告書を農業委員会に提出しており、各法人とも健全な事業を展開していると思うが、現状はどうなっているのか伺う。</p> <p>① 新規移住希望者から「農業をやりたい」と相談を受けて対応していると思うが、農業者を増やすには受け身ではなく、りんごや北限の桃などの特産品や畜産との複合農業など、他自治体へ移住して農業を行うよりも魅力があることを前面に押し出し、移住定住者の獲得と農業者の獲得に努めるべきと考えるがいかがか。</p>				

令和元年第4回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	3	質問者	館花 一仁	質問所要時間	30分
質問事項			質問要旨		
2		ブランド戦略について (1)「鹿角ブランド推進指針」ブランドカラー「黄金色」について		<p>① 令和元年度初となる「日本遺産」が認定発表され、宮城県涌谷町や岩手県平泉町などが提出した「みちのくGOLD浪漫～黄金の国ジパング、産金はじまりの地をたどる～」が認定された。平泉の繁栄の陰に尾去沢鉱山の金も使われたと言われているが、この認定に当たり本市にも声がかかっていたものか伺う。</p> <p>② ブランド戦略を行う上で、最も重要な目標は全国にブランドを認知させることかと思う。具体的な取り組みを始めるタイミングで同じ東北での日本遺産認定により、本市のブランドイメージが見劣りしないか大変懸念しているが、考えを伺う。</p>	
3		総合運動公園のパーク化について		<p>① 鹿角市総合運動公園の運動競技施設やスキー場などは、オリンピック選手である高梨沙羅さんを筆頭に幅広く全国の学生やスポーツ選手に利用されている。近年、芝桜やネモフィラのような花をテーマとした観光の取り組みが多くあるが、本市でも花輪スキー場、クロスカントリーコース等で取り組む考えがないか、また、東北自動車道の花輪サービスエリアまでパーク化を進めることにより、高速道路を降りずとも誘客可能と思うが、取り組む考えがないか伺う。</p>	

令和元年第4回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	4	質問者	吉村 アイ	質問所要時間	60分
質問事項			質問要旨		
1	男女共同参画の推進について (1) 市女性職員の管理・監督職と課長級以上の登用率について	①	令和2年の管理・監督職への登用率の目標を30%としているが、達成の見通しを伺う。	②	昨年の課長級以上の登用率は20.5%とのことだが、30%を達成できる見通しを伺う。
2	障害者差別解消法について (1) 障害者差別解消法について	①	法が施行されてから3年経過したが、差別の解消の推進に関する市職員の対応要領は作成しているか伺う。	②	市職員に対する研修、市民に対する啓発活動はどのように行ったか伺う。
3	ファーストベビー祝い金について (1) ファーストベビー祝い金支給を終了する経緯について	①	平成28年度から実施している祝い金支給は成果を上げていると思うが、祝い金支給を終了する経緯について伺う。	②	祝い金の持つ意義をかんがみると、継続するべきと思うが、市の考えを伺う。
4	花輪北小学校・平元小学校統合後の校歌について (1) 花輪第二中学校の校歌を統合校の校歌にする経緯について	①	校歌についての話し合いは、いつからどのような経緯で決定したのか伺う。	②	歌詞をそのまま使うことに対し、新しい小学校に合わないとの意見もあるが、このことについて市の考えを伺う。

令和元年第4回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	4	質問者	吉村 アイ	質問所要時間	60分	
質問事項			質問要旨			
5		(2)生徒に歌詞をつくらせることについて 敬老会について (1) 敬老会の参加率について (2)敬老会のあり方の見直しについて (3)敬老会についてのアンケートについて		① 校歌ではないが、尾去沢中学校では「刻の翼」と題して歌をつくった。校歌の歌詞を生徒につくらせる考えはないか伺う。 ① 平成28年から30年の参加率はほぼ20%で、ここ2年の参加者は約千三百数十人となっているが、令和7年（2025年）にはどのようなになると推測するか伺う。 ① 団塊の世代が75歳になる時の敬老会のあり方は、現状のやり方では付添いの人材確保の問題など、多くの問題があると考えます。団塊の世代は個人主義が強いなど、考え方が上の世代とは異なることから、これまでの形式での敬老会を望まない傾向があると考えますが、今後の展望を伺う。 ① 現在68歳から74歳の市民に敬老会についてのアンケート（今後参加する年代を含めて）を行い、令和7年（2025年）以降の敬老会の指針を作成すべきと思うが、市の考えを伺う。		
6		ストーンサークルのボランティアガイドについて (1)ボランティアガイド養成講座について (2)今後のボランティアガイドについて		① 昨年は3人、今年は1人の研修生とのことだが、ボランティアガイドを増やすための積極的な対策に取り組む方向性について伺う。 ① まちの案内人のような強固な組織にすることを検討できないか伺う。		

令和元年第4回鹿角市議会定例会一般質問

No.3

順位	4	質問者	吉村 アイ	質問所要時間	60分
質問事項			質問要旨		
<p>7 全国山・鉾・屋台保存連合会総会について</p> <p>(1) 令和3年度以降の総会について</p> <p>(2) 花輪ばやし屋台の商店街移転について</p>	<p>① 令和3年度（2021年度）以降の総会開催に向けて、花輪ばやし祭典委員会の役員と一緒に、市の担当者の来年度以降の視察を実施できないか伺う。</p> <p>① 平成29年の答弁は「祭典委員会と協議を重ねる」、平成30年の答弁は「具体的な展望もなく、協議の段階に至っていない」であるが、その後進展があるか伺う。</p> <p>② 花輪ばやしの発展と商店街の活性化、まちなか観光の活性化のためにも、屋台の商店街への移転は積極的に進めるべきと思うが、市の考えを伺う。</p>				

令和元年第4回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	5	質問者	黒澤 一夫	質問所要時間	60分
質問事項			質問要旨		
1	観光産業の発展と農業特産品の生産振興への取り組みについて		<p>① 温泉を初めとした自然豊かな鹿角を永く発展させるため、観光産業の振興は重要であると考え。継続した取り組みはどのように進めているものか伺う。</p> <p>② 北限の桃やかづの牛、鹿角りんごの生産量増大のため、品目別生産目標を定め、支援策を講ずるべきと考えるが、どのように取り組んでいるものか伺う。</p> <p>③ かづの牛の母牛（繁殖雌牛）の増頭対策はどのように講じているか伺う。</p> <p>④ 見て喜ぶ、ふれて感激する観光振興について、かづの牛の観光放牧農場の設置、北限の桃や果樹の収穫体験等ができる環境を整えるべきと思うが、特産品の生産強化策と観光産業のより一層の振興への取り組みについて伺う。</p>		
2	縄文遺跡大湯環状列石（ストーンサークル）の世界遺産登録を目指した取り組みについて		<p>① 秋田県、青森県、岩手県、北海道にわたる縄文遺跡群のユネスコ世界遺産登録を目指しての強力な取り組みを望むが、市ではどのような対応を行っているものか伺う。</p> <p>② 長期間継続した先史文化の生活や祭祀儀礼のありさま、日本の文化の基礎を伝えると言われてい。現状の大湯環状列石の保全は重要であると思うが、特に保全に注力している点はどのようなことか伺う。</p> <p>③ 「北海道・北東北の縄文遺跡群」として世界遺産登録を目指しているが、他遺跡との連携を密にして取り組むことが重要である。このことについて、どのように行っているか伺う。</p>		
3	県立3高校の統合計画に対しての市の対応と市内小中学校間の教育連携への取り組みについて		<p>① 鹿角市、郡内3高校の統合計画が示されており、市としても積極的に意思表示をするべきと考えるが、このことについて伺う。</p>		

令和元年第4回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	5	質問者	黒澤 一夫	質問所要時間	60分
質問事項			質問要旨		
4	医師確保対策とその状況について	①	かづの厚生病院の医師不足、市内病院・医院の診療科の減少等があり、安心して医療を受けられるようにこの取り組みを進めてきているが、成果と状況について伺う。	②	特色ある普通科や特別コース科を要望して、鹿角学、鹿角カラーを発展させていただきたく、取り組みをすべきと思うが、どのように考えているのか伺う。
5	コモッセ北側の市道八正寺久保田線及び久保田7号線の久保田橋までの拡幅整備について	①	コモッセ北側の国道282号信号機から米代川久保田橋間のJR線を通過しての市道の拡幅を早期に行うべきと考えるが、この取り組みについて伺う。	③	中高一貫校という考えはないか伺う。
		②	国道282号の混雑解消対策として重要な市道であると思うが、国道バイパス計画への取り組みと併せての対応を伺う。	④	教科別、各種学校教育ごとの共同学習を取り入れることも必要と考えるが、このことについて伺う。
6	安心して暮らせる地域づくり、地域コミュニティの強化、活性化への支援について	①	地域の助け合いによる日常の暮らしを守るための取り組みが大切であると考えますが、どのような施策を講じているものか伺う。	①	かづの厚生病院の医師不足、市内病院・医院の診療科の減少等があり、安心して医療を受けられるようにこの取り組みを進めてきているが、成果と状況について伺う。
		②	自治会やボランティア団体、任意のグループ等と連携して、各地域の「安全・安心感」を高めるための市の関わりが必要であると考えますが、状況について伺う。	②	コモッセ北側の国道282号信号機から米代川久保田橋間のJR線を通過しての市道の拡幅を早期に行うべきと考えるが、この取り組みについて伺う。
		③	認知症の方、高齢者の方々が日常の生活、今後の生活について気軽に相談できるシステムが望まれるが、このことについて伺う。	③	中高一貫校という考えはないか伺う。
		④	自治会の運営が厳しい、老人クラブの会員が減少している、また、役員になってくれる方が少なく会の維持に苦勞していると言われており、市の強い支援を行うべきと思うがその対応について伺う。	④	教科別、各種学校教育ごとの共同学習を取り入れることも必要と考えるが、このことについて伺う。

令和元年第4回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	6	質問者	倉岡 誠	質問所要時間	60分
質問事項				質問要旨	
1		稼げる観光について		<p>① 日本版DMOの取り組みについて、日本版の地域DMO候補法人として、観光産業推進ミーティングなどを主導し観光まちづくりを進めてきたかづの観光物産公社が、今年3月に晴れて正式にDMOとして登録されたことに大いに期待している。DMOとして本登録されたことによって、実際にどのようなメリットがあるのか。また、メリットがあるとすれば、それを生かして今後どのような取り組みを具体的に進めようとしているのか伺う。</p> <p>② かづの観光物産公社の体制確立について、かづの観光産業確立事業は3年目を迎えているが、同事業によるかづの観光物産公社の外部人材の登用による体制構築への助成は今後も続けるのか。公社の黒字化も図られ、効果も出ていると受け止めているが、公社の自立的発展に向けた道筋をどのように描いているのか伺う。</p>	
2		大湯環状列石の世界遺産登録について		<p>① 大湯環状列石を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」の国内推薦が決定された場合、その後の見通しを伺う。</p> <p>② 「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録に向け、大湯環状列石が今後、県道への対応やバッファゾーン、景観の保全などといったクリアすべき課題はあるのか伺う。</p> <p>③ 今後、登録に向けた情勢・準備・具体的な取り組みをどのように展開していくのか伺う。</p> <p>④ 大湯環状列石の史跡案内ボランティアについて、世界遺産登録を見据えた受け入れ態勢整備として、史跡案内ボランティアの養成を昨年度から進めているが、今年度の養成講座への参加者は1人のみとの報道があり、市民の参画意識が高まっていないのではないかと危惧している。まずは国の特別史跡にもっと多くの人に関わりを持てるよう、史跡周辺の清掃や草刈りなどを行ってくれる市民サポーター制度をつくり、参加していただいた会員の中から史跡ボランティアにステップアップしてもらうなど段階的な取り組みをしてみたいかと思うが所見を伺う。</p>	

令和元年第4回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	6	質問者	倉岡 誠	質問所要時間	60分
質問事項			質問要旨		
3		教職員の多忙化について		<p>① 教職員の多忙化について、昨年9月の定例会の一般質問において、働き方改革として教職員の勤務実態について質問したが、昨今、教職員を志す人材が減少している。職業感や職種の多様化などといった原因が大きいと思うが、教職員の多忙化といった側面もあるとも考える。市内小中学校の教職員の多忙化の実態について伺う。</p> <p>② 本市の場合、どうしても教職員が多忙化傾向になると思われる。そのため、市は昨年度において独自に小中学校多忙化防止計画を策定したと聞いているが、その具体的な内容について伺う。</p> <p>③ 鹿角市立小中学校多忙化防止計画のこれまでの効果や手応えについて伺う。</p>	
4		固定資産税賦課（課税）について		<p>① 今年度から鹿角市固定資産税の土地に対する賦課（課税）内容が、現況地目課税主義の徹底により、さらに正確・公正になったことで税収が増加する見込みであるが、こうした市の考え方・賦課（課税）方針は、全国または全県一斉の見直しによるものか伺う。</p> <p>② なぜ、今年度から賦課（課税）方針の見直しをしたのか伺う。</p> <p>③ 決定した方針に基づいて、市内全ての土地について精査し、現地確認されたのか。また、その際に土地所有者の立ち合いや理解は得られたのか伺う。</p> <p>④ 今回のように見直しを図った市の固定資産税賦課（課税）方針が正しいとしても、例えば意図的に宅地並み課税を免れていたわけではなく固定資産税に対する知識や理解がほとんど薄い市民（納税義務者）にとって、税額が激増した際に納税が困難なケースも想定され、実際に私に悲痛な訴えをしてくている市民も複数いる。市として激変緩和措置をとる考えはないのか伺う。</p> <p>⑤ 市当局としては、従来から適正に賦課（課税）され法を順守して納税している市民と、今回のように急激に税額が増加した市民と不公平感なく一律に同じ判断基準で課税しなければならないとの姿勢かと思うが、今一度、市民（納税者）に寄り添った市税事務とはどういったものなのかを熟考して進めてほしいが、いかがか。</p>	

令和元年第4回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	7	質問者	児玉 悦朗	質問所要時間	30分
質問事項			質問要旨		
1	鹿角観光の活性化策について		<p>① 外国人観光客受け入れ対策について、実際に対策を行っている状況がどのようなものか、対策の内容を伺う。また、外国人個人に対して団体客と違う対策を行っているのか伺う。</p> <p>② 株式会社かづの観光物産公社DMOに対して、本市がさらに積極的に支援を行うべきと考えるが本市の対応について伺う。</p> <p>③ 本市の観光の活性化策である「鹿角プレミアムツアー」の内容とその期待する効果について伺う。</p>		
2	地域新電力「かづのパワー」について		<p>① 事業の着手に至った経緯と目的を伺う。</p> <p>② 地熱電源の獲得交渉が合意に至らなかった原因と、今後の交渉次第で獲得できる可能性はあるのか伺う。また、非FIT電源の水力は柴平、八幡平、八幡平第二発電所があるが、秋田県との今後の交渉次第で獲得ができるのか伺う。</p> <p>③ この事業は第三セクター方式か、それとも委託事業なのか。また、委託事業であれば委託の公募は行わないのか。そして販売価格の決定はどのように行うのか伺う。</p>		
3	小中学校の教育環境整備について		<p>① 小学校、中学校のトイレの洋式化改修の進捗状況について伺う。</p> <p>② 本市小中学校ではスマートフォンの校内への持ち込みについて、統一した対応をされているのか伺う。</p>		

令和元年第4回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	8	質問者	安保誠一郎	質問所要時間	30分
質問事項			質問要旨		
<p>1 農業支援について</p> <p>(1) 野生鳥獣被害対策について</p> <p>(2) 果樹栽培サポーター育成支援制度について</p>	<p>① 昨年実施された、熊出没抑制のための緩衝帯設置の効果について伺う。</p> <p>② 農作物に対する熊被害額は年々増加傾向にあり、さらに昨年は秋以降の野生の木の実が豊富だったことから、個体数が増えていると推測されている。このような状況の中で、対策として捕獲型がいいのか侵入防止型がいいのか、方向性を伺う。</p> <p>③ 近年、熊以外に鹿やイノシシの被害が全国的に大きく取り上げられている。イノシシに関しては秋田県内でも少なからず捕獲されていることから、鹿角市においても早期の対応が必要と思われるが見解を伺う。</p> <p>① 果樹栽培の人手不足解消に向けた「果樹栽培サポーター育成講習会」が今年で2年目を迎えたが、前年度の実績をどう評価し今後につなげていくのか見解を伺う。</p>				
<p>2 伝統芸能文化財支援について</p> <p>(1) 花輪ばやしの東京五輪セレモニー参加要請について</p>	<p>① 昨年の9月定例会一般質問において、東京五輪セレモニー参加要請については、その時点での全国山・鉾・屋台保存連合会からの具体的な情報は示されておらず、その年の12月の総会で示されるのではないかと答弁があったが、その後何らかの進展はあったのか伺う。</p> <p>② 今年でユネスコ登録3年目となった花輪ばやしは、NHKホールで演奏するなど知名度とともに評価も高くなっている。東京五輪セレモニー参加は、市の観光資源として国内外に売り出す最大の機会だと思うが見解を伺う。</p> <p>③ 東京五輪セレモニー参加への機運醸成のため、市民に対する大々的な周知応援活動を行う考えはないか伺う。</p>				

令和元年第4回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	9	質問者	戸田 芳孝	質問所要時間	30分
質問事項			質問要旨		
1	<p>貧困対策について</p> <p>(1) 本市の貧困世帯数の現状について</p> <p>(2) 生活困窮者自立支援制度について</p> <p>(3) 子どもの貧困対策について</p>		<p>① 働く貧困層（ワーキングプア）と呼ばれる年収200万円以下の世帯数とその割合、並びに被保護世帯数と保護率について伺う。</p> <p>① 第2のセーフティネットとして創設された「生活困窮者自立支援制度」について、本市のこれまでの取り組みと課題について伺う。</p> <p>① 平成26年1月に「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が施行された。この法律は、子どもの将来がその生まれ育った環境に左右されることのないよう、健やかに育成される環境を整えることを目的としている。子どもの貧困対策について、本市の現状と取り組みを伺う。</p>		
2	<p>臨時・非常勤職員の処遇について</p> <p>(1) 臨時・非常勤職員の配置状況について</p> <p>(2) 会計年度任用職員制度の導入について</p>		<p>① 臨時・非常勤職員の人数及び配置、並びに正規職員との配置割合について伺う。</p> <p>① 令和2年4月から臨時・非常勤等職員の処遇改善、任用根拠を厳格化する「会計年度任用職員制度」がスタートするが、本市において、その趣旨に則り処遇改善に結びつけていく意思があるのか伺う。また、多くの臨時・非常勤職員が新制度に移行することが想定されるが、今後のスケジュールについて伺う。</p>		